

大雨に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和4年5月26日5時23分、「大雨に関する福島県気象情報第1号(福島地方気象台)」が発表されました。今後の気象情報に注意するとともに、農作物の管理には十分注意してください。

中通りと浜通りでは、気圧の谷や湿った空気の影響により、27日は大雨となる所がある見込みです。大雨による土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

【気象状況】

27日は、東北地方を気圧の谷が通過するでしょう。また、湿った空気が福島県へ流れ込む見込みです。

【予想と防災事項】

<雨の予想>

中通りと浜通りでは、27日は激しい雨が降り、大雨となる所がある見込み。雨雲が予想以上に発達した場合は、警報級の大雨となる可能性がある。

27日に予想される1時間降水量は、いずれも多い所で、

中通り 30ミリ

浜通り 30ミリ

会津 20ミリ

27日6時から28日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、

中通り 50から100ミリ

浜通り 50から100ミリ

会津 50から100ミリ

<防災事項>

中通りと浜通りでは、27日は警報級の大雨となる可能性があります。27日昼過ぎから夜遅くにかけて、大雨による土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。

【補足事項】

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

次の「大雨に関する福島県気象情報」は、26日16時30分頃に発表する予定です。

【水 稲】

1 事前対策

- (1) 増水に備え、用排水路を点検し、ゴミ等を取り除いておきましょう。
- (2) 大雨により水路が増水している場合は、危険ですので近づかないでください。

2 事後対策

田植え後のほ場で稲が水没している場合は、葉先が出るように排水しましょう。

【麦類・夏そば】

1 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

2 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

【野菜・花き】

1 事前対策

(1) 共 通

ア ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。水害が発生しやすい場所では強制排水のポンプも準備しておきましょう。

イ パイプハウスでは、被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。

ウ 施設では、天窓や扉があおられたり風雨が吹き込まないように完全に閉めておきましょう。

エ は種や定植を予定しているものは、天候回復後に実施しましょう。

2 事後対策

(1) 共 通

ア 停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めましょう。

イ 冠水した場合は、ほ場への出入りによって土壌の物理性が悪化しないよう配慮しましょう。ぬかるむ場合は、出入りを極力避けましょう。

(2) 野 菜

ア 排水後、ほ場作業が可能になったら直ちに畦間の中耕を行い、土壌の通気性を良くし根の働きを回復させましょう。

イ 果菜類等でネット等からはずれたつるや茎葉等は、再度誘引し直しましょう。茎葉の損傷が激しい場合は、新葉（枝・つる）の発生を確認してから摘除しましょう。

ウ 冠水や多湿、茎葉の損傷等により病害にかかりやすくなっていますので、茎葉に付着した砂泥は水をかけて洗い流し、速やかに適切な薬剤散布を行いましょう。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょう。

(3) 花 き

ア キクやリンドウ、シンテッポウユリ等の露地栽培では、風雨により損傷を受けると病害が発生しやすいので、速やかに適切な薬剤散布を行ったり、草勢回復のために液肥の葉面散布を行いましょう。

イ ほ場が冠水した場合は、速やかに排水を行うとともに、付着した泥を洗い流し、灰色かび病等の予防薬剤散布を行いましょう。また、液肥の葉面散布や酸素供給剤のかん注により、草勢回復を図りましょう。

【果 樹】

1 事前対策

- (1) 水が停滞しやすい園ではあらかじめ明きょ等の排水溝や暗きょを整備しましょう。
- (2) 水害による樹体への影響は、樹勢によっても異なるので、適正な樹勢の維持を心がけましょう。
- (3) モモせん孔細菌病やなし黒星病などの病害は、降雨により病原菌の分散が助長されるので、現在発生がみられている園地や例年発生が目立つ園地では、効果のある薬剤を降雨前に散布するよう心がけましょう。

2 事後対策

長時間に渡る浸水や滞水は根や葉の呼吸を阻害し、生育不良や枯死を招くので速やかに対策を実施してください。

- (1) 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。
- (2) 土砂が流入した園では、根の呼吸を助けるため、なるべく早く樹冠下の土砂を取り除きましょう。
- (3) 枝葉や果実などに泥が付着した場合はできるだけ早く洗い落とし、病害の発生を防ぐため適切に薬剤散布を実施しましょう。なお、定期散布が近い場合は、この散布に置き換えて実施してください。
- (4) 農道などに土砂が堆積した場合は、作業の妨げになるので速やかに除去しましょう。

【畜産・飼料作物】

1 事前対策

- (1) 風雨の吹き込みを未然に防止するため、畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎及び排水溝等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等を行いましょ。
- (2) 開放された飼料の保管場所では、飼料をシートで覆うなどして、雨水がかからないようにしましょ。
- (3) 堆肥舎は、風雨の吹き込みにより、堆肥や汚水が流出することが心配されますので、堆肥をシートで覆うなどして、流出を防止しましょ。
- (4) 停電や断水時等の対応をあらかじめ確認し、被災時には、自家発電機等による搾乳や生乳冷却等の対応ができるよう準備しておきましょ。
- (5) 水はけの悪い草地や飼料畑には、明きょを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょ。

2 事後対策

- (1) 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょ。
- (2) 滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し、速やかに排水しましょ。
- (3) 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょ。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ

以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>